

【環境モニタリング調査報告書案に関する委員会意見及び対応方針】

項 目	委 員 会 意 見	対 応 方 針
II. 令和元年度調査結果	<p>環境保全措置の実施状況を把握するための調査(グリーン購入法に基づく特定調達品の利用状況)について</p>	<p>アスファルト・コンクリート塊の再資源化搬出量と再資源化されたアスファルト混合物の利用量について、工事期間を通じた集計結果が出るのであれば、結果を報告書に記載することで、工事を通じた資源の循環化が図られていることを示すことができるのではないかと。</p>
	<p>環境保全措置の実施状況を把握するための調査(温室効果ガス)について</p>	<p>表1-3-4などに記載された影響要因のうち、建設機械の稼働と工事用車両の運行に関する環境要素として、温室効果ガスとの記載があるが、調査結果にはそれに対する記載がない。また、その他の環境要因で温室効果ガスについて網羅的に結果をとりまとめているため、表中の記載の整合は図っておいたほうが良い。</p>
		<p>再資源化されたアスファルト混合物の利用量については、工事開始直後からの集計は行ってないが、ご意見を踏まえて、今後改めて利用量を確認し、集計が可能であれば、次年度の報告書に記載する方針とします。</p> <p>ご意見を踏まえて、表1-3-4～表1-3-8について以下のとおり修正します。</p> <p>【環境要因】 「建設機械の稼働」「工事用車両の運行」 【環境要素】 「温室効果ガス」を削除 ※環境要因の「その他」は修正なし。</p>